

案 内

【第 83 回 春季講演大会を終えて】

2017年6月1日(木)、2日(金)に東京工業大学大岡山キャンパスのデジタル多目的ホールにて、第83回春季講演大会(大会実行委員長:船川義正 学術研究委員長)が開催され、滞りなく終了致しました。若手研究者の研究発表のJセッション7件と、一般講演9件でした。河上・赤見記念講演では、(株)特殊金属エクセルの細谷 佳弘氏より「高炭素マルテンサイト鋼の低温焼戻し挙動に及ぼすPの影—メモリヤス針の素材設計に基づく一考察」のご講演をいただきました(写真②)。

初日午後は、2016年度協会賞、論文賞、口絵写真賞、研究発表奨励賞の授与式も執り行われました。学術功績賞は東北大学教授・古原 忠氏(写真③右)に、論文賞は九州大学准教授・土山 聡宏氏(写真④右)に、2016年度から始まった口絵写真賞は島根大学大学院准教授・森戸 茂一氏(写真⑤)に授与されました。2日間の来場者は延べ241名でした。企業情報展示会場に口絵写真も展示されました。懇親会も約60名の参加があり、賑やかで、かつ、活発な情報交換の場となりました。

本大会の討論会メインテーマは、「鋼材の組織と熱処理における組織変化」と題し、基調講演と、焼鈍、窒化、浸炭焼入れ、溶接、強加工における組織変化の依頼講演5件があり、活発な討論会となりました。

基調講演	講演者・所属	依頼講演者・所属
鋼材の組織と熱処理における組織変化	山崎真吾氏 (新日鐵住金(株))	鈴木雅人氏(日新製鋼(株)), 宮本吾郎氏(東北大学), 井上圭介氏(大同特殊鋼(株)), 高田充志(JFE スチール(株)), 戸高義一氏(豊橋技術科学大学)

一方、研究発表奨励賞最優秀賞は下記に示す通りに決定されました。授与式を写真⑥に示します。

	受賞者名	所属名称	講演題目
最優秀賞	武末翔吾君	慶應義塾大学大学院	Ti合金にAIH-FPP(雰囲気制御高周波誘導加熱微粒子ピーニング)を用いて創成した金属間化合物被膜の表面特性

次回の第84回春季講演大会は、2017年11月30日(木)、12月1日(金)に東北大学片平キャンパスにて開催されます。皆様の多数のご参加をお待ちしております。



①



②



③



④



⑤



⑥

写真①東工大正門、写真②細谷佳弘氏、
写真③右から古原 忠氏、川崎代表理事
写真④右から土山聡宏氏、山口聡一郎氏
写真⑤森戸茂一氏
写真⑥右から久保寛典選考委員長、刈本天斗君(優秀賞)、武末翔吾君(最優秀賞)、細見章人君(優秀賞)